

青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(東青地区)

構成市町村名 青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村

1. 地区会議の開催状況	
年度	開催回数：計3回
令和6年度	7月2日、12月25日
令和7年度	8月19日

2. 検討結果		
取組項目	令和7年度までの実績	令和8年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	①水質関係業務の包括委託について 令和2年度以降、蓬田村・今別町・外ヶ浜町から順次、水質検査を青森市が受託し水質検査を行っている。また令和6年度は、外ヶ浜町においてPFOSの追加検査を実施した。	平内町との検査共同化について引き続き検討を行う他、PFOSの検査をはじめとした、水質検査の現状や需要に合わせた検査内容・項目の拡大について引き続き、検討を継続する。
	②料金徴収業務、マッピングシステムの共同化について 「経営の一体化、事業統合」の検討に当たって共有した基礎データに加え、令和6年度中に水道料金・マッピングシステムのデータ整理を行った。	共有したデータを活用しながら、共同化等の可否についての検討を継続していく。
	③災害対策について 令和元年度より災害対策訓練の共同開催を行っており、令和6年度までで累計4回実施した。(令和3～4年は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止)	管工事組合をはじめとした各地域の民間業者の参加を広く呼びかける等、民間との連携について強化を図っていき、地区全体を通じた職員の技術継承に活用していく。
	④給水装置について 令和元年度より、給水装置工事等の施工に関する説明会を共同で開催し、令和6年度まで年1回の開催を継続している。	当説明会を令和8年度以降も継続して開催することにより、地区内の事業体に重複して指定給水装置工事業者に登録している業者の参加負担軽減や、地区内での知識の共通を図るとともに、給水装置工事等の技術の平準化及び効率的な技術の向上につなげていく。
(2) 施設の共同設置・共同利用	令和5年度から青森県水道広域化推進プランで示された東青地区の2ケース(「天田内配水所と蓬田浄水場の統廃合」「浅虫配水池と土屋浄水場の統廃合」)について、青森市において、現時点における施設設備や料金収入を含めた収支シミュレーション等を行ってきた。令和6年度は、この内容に加え、各施設の能力をはじめとした基本情報について、関係市町村間で共有した。	共有したデータを活用し、各施設の更新需要や時期を見極めながら、概算費用の比較等についての検討を継続していく。
(3) 経営の一体化 (4) 事業統合	東青地区の各事業体において経営状況、財務状況等基礎データの共有を行いながら検討を進めたが、青森市の事業規模が突出して大きい一方で、料金水準が著しく低く、経営の一体化や事業統合に必要な諸条件を整えることが難しいことから、現時点でこれらは行わないこととし、当面は「(1)事務の広域的処理」、「(2)施設の共同設置・共同利用(統廃合)について」の検討を進めることとする。	今後の状況変化等に的確かつ迅速に対応できるよう、経営状況等といった基礎データについては年度毎に更新するなど、地区内の情報の見える化・共有化を継続していく。